学校番号	３０１３

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　高等学校現代社会（数研出版）						
副教材等	ライブ！現代社会 2021（帝国書院）　新詳高等地図（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察する。
・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深める。
・国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察する。

２　学習の到達目標

・人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深める。
・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断する力を養う。
・良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的･多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としてのあり方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	私たちの生きる社会	・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・生命をめぐる問題 ・情報をめぐる問題	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:地球温暖化など地球環境問題と資源・エネルギー問題を考察し、生物多様性の危機について理解できる。 b:持続可能な社会の形成のため，環境や資源にかかわる課題を考察させることを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる。 c:持続可能な社会・循環型社会の形成及び人類の福祉の増進のため，市民・消費者や事業者，自治体などさまざまな立場・観点があることを整理し，議論や発表している。 d:生命科学やバイオテクノロジーがどのように進展しているか理解し、人々の多様な価値観を背景に生じる衝突や対立，社会的な課題について整理している。	ワークシート 定期考査
	個人の尊重と法の支配	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法と基本的人権	○ 	○ 	 ○	 ○	a:民主政治が私たちの生活とかかわっており，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深めている。 b:民主政治における国家と個人のあり方を考察している。 c:日本国憲法で保障されている権利が理解でき，その権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ，その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察している。 d:男女間や国籍の違いなど，身近なところで人権が保障されているか調べ，報告する。	ワークシート 定期考査

	現代の民主政治と政治参加の意義	・日本の政治機構 ・政治参加と民主政治の課題	○	○	○	○	a:日本の政治について課題を発見し、解決する見通しを持てる。 b:議会の見学や住民運動など、身近に自らが参加できる機会を発見し、主権者として参加しようという意欲が育っている。 c:住民投票など身近な地域で行われている例を調べ、報告している。 d:日本の政治について課題を発見し、解決する見通しを持っている。	ワークシート 定期考査
	国際社会の動向と日本の果たすべき役割	・国際政治の動向 ・国際政治の課題と日本の役割	○	○	○	○	a:国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割を理解している。 b:国際連盟・国際連合の組織と役割が理解でき，国連の現状と課題について考察し、また、留学生や国際NGOと接することにより，国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断できるようになる。 c:国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が認識でき，国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明している。 d:冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解している。また、核軍拡から核軍縮への流れを理解している。	ワークシート 定期考査

後期	青年期と自己の形成	・青年としてのあり方・生き方 ・先人の生き方・考え方 ・日本人としての自覚	○ ○	 ○ 	○ ○ ○	○ ○	a:よりよく生きることについての自覚を深め、社会の一員としての自覚を深め，自分の生き方を選択し，自己実現を目指している。 b:古代・中世・近世・近代の世界および日本の思想家の思想内容を理解し、先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し，参考にできることはないか考察することができる。 c:自らの生きがいや進路について発表できる。 d:青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解し、生活文化や伝統が自分の生き方に与えている影響に気付くことができる。	ワークシート 定期考査
	現代の経済社会と経済活動のあり方	・経済社会の変容と現代の企業 ・市場機構と政府の役割	 ○	 ○	○	○	a:政府が経済に果たしている役割を理解し、金融・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できる。 b:科学技術の進展が生活にどう変化を及ぼしたのか考察でき、GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか，豊かさについて自分なりに判断している。 c:各種経済指標を理解し，その指標の動向を読み解くことができている。 d.現代の企業の果たしている役割が理解でき、市場経済のメカニズムを理解している。	ワークシート 定期考査

	日本経済の進展と私たちの生活	・日本経済の進展と変化 ・豊かな生活と福祉の実現	○	○	○	○	a. 公害がなぜ発生したのか原因を考察している。 b. 経済のサービス化が進展し，国民生活にどのような変化をもたらしたか考察でき、日本の経済について課題を発見し，解決する見通しを持っている。 c. 失業率や公共事業のあり方に関心を持ち，新聞などで情報を集め，意欲的に現在の日本経済を探究している。 d. 戦後日本経済のあゆみが理解でき、中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解している。	ワークシート 定期考査
	国際経済の動向と日本の果たすべき役割	・国際経済の動向 ・国際経済の課題と国際協力	○	○	○	○	a. 国際社会について自分なりの展望を持ち、発展途上国の現状を知り，貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるか考えられる。 b. 外国為替相場などのチャート図を見て，レートや市場の動向を理解し，円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考察している。 c. 外務省や国連のホームページなどを参照し，国際社会や各国の課題を知る。 d. 主体的に国際社会の課題を考えようとする自覚を育てる。	ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。